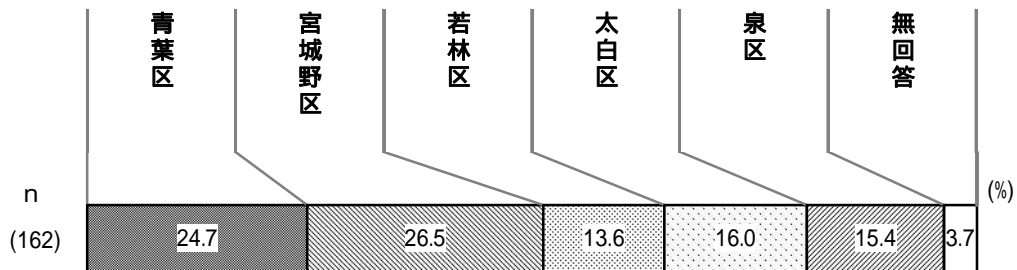


アンケート調査  
(精神障害者本人(入院))

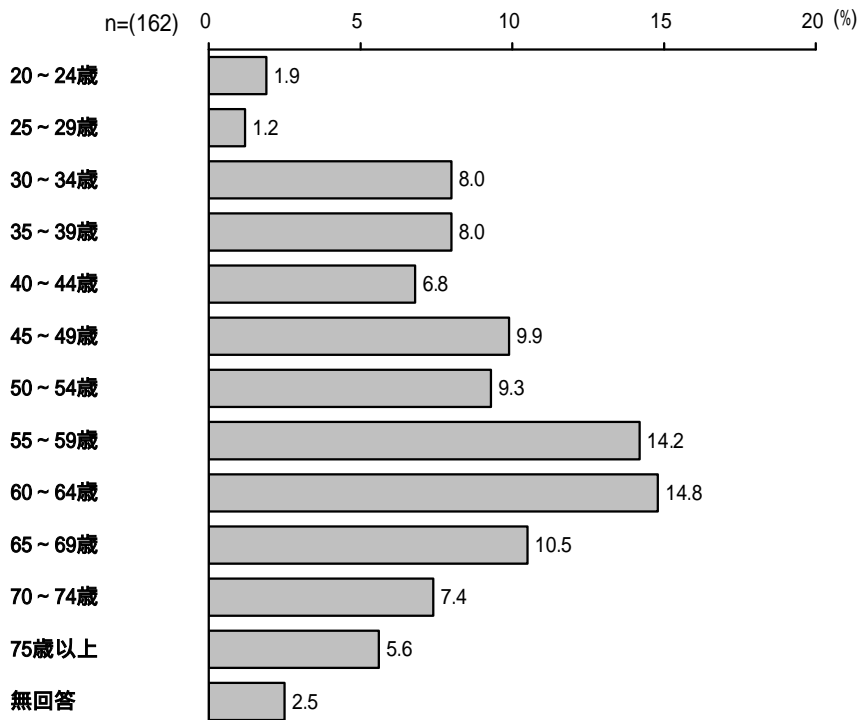
## 1 基本的な属性について

問1 あなたのお住まい（又は帰来先）の区はどこですか。（S A）



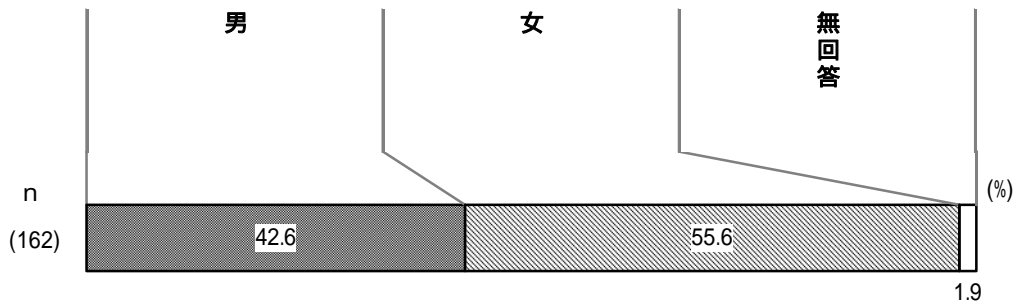
居住区（帰来先）については、「宮城野区」（26.5%）が最も多く、以下「青葉区」（24.7%）、「太白区」（16.0%）、「泉区」（15.4%）、「若林区」（13.6%）となっている。

問2 あなたの年齢は何歳ですか。（数値）



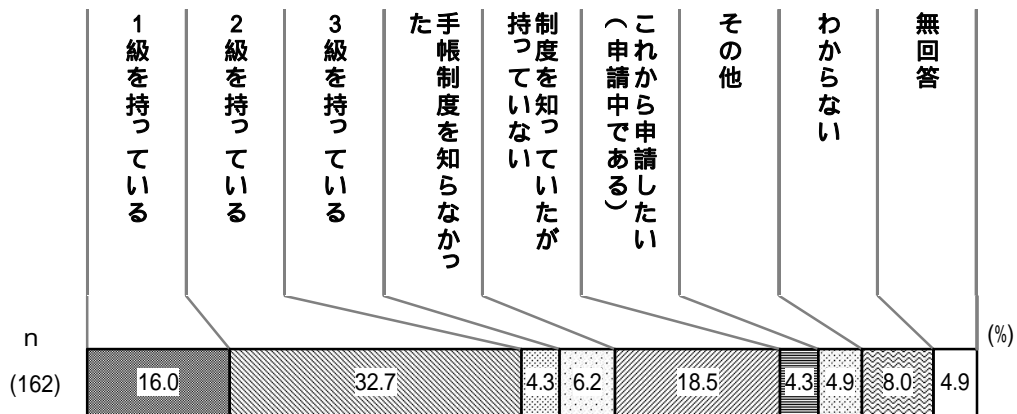
年齢については、「60～64歳」（14.8%）が最も多く、以下「55～59歳」（14.2%）、「65～69歳」（10.5%）となっている。

問3 あなたの性別は男、女のどちらですか。(SA)



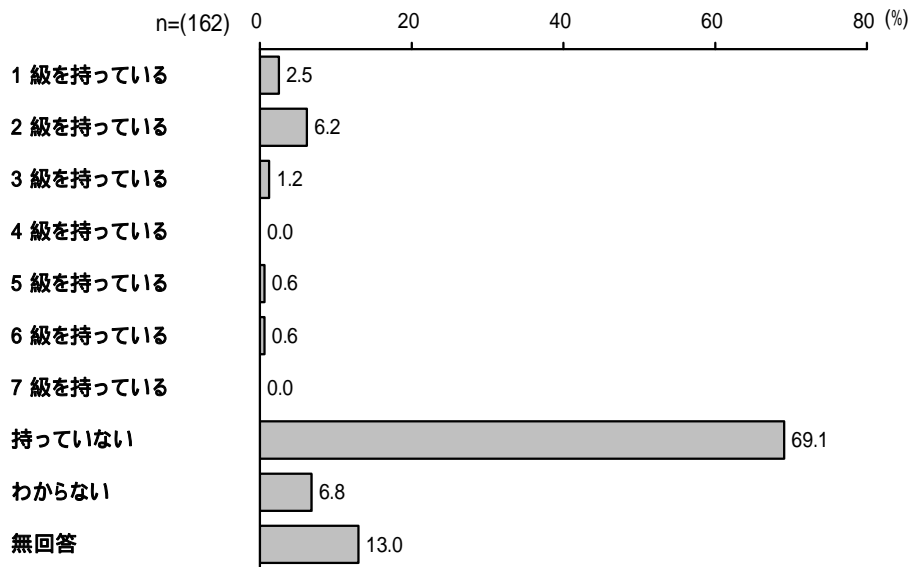
性別については、「男性」が42.6%、「女性」が55.6%となっている。

問4 あなたは精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。(SA)



精神障害者保健福祉手帳所持の有無については、「2級を持っている」(32.7%)が最も多く、以下「1級を持っている」(16.0%)、「3級を持っている」(4.3%)となっている。  
 なお、「制度を知っていたが持っていない」は18.5%となっている。

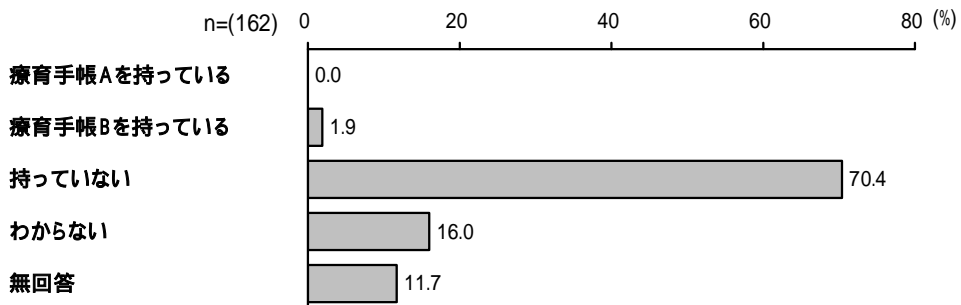
問5 あなたは身体障害者手帳を持っていますか。( S A )



身体障害者手帳の有無については、「2級を持っている」(6.2%)が最も多く、以下「1級を持っている」(2.5%)となっている。

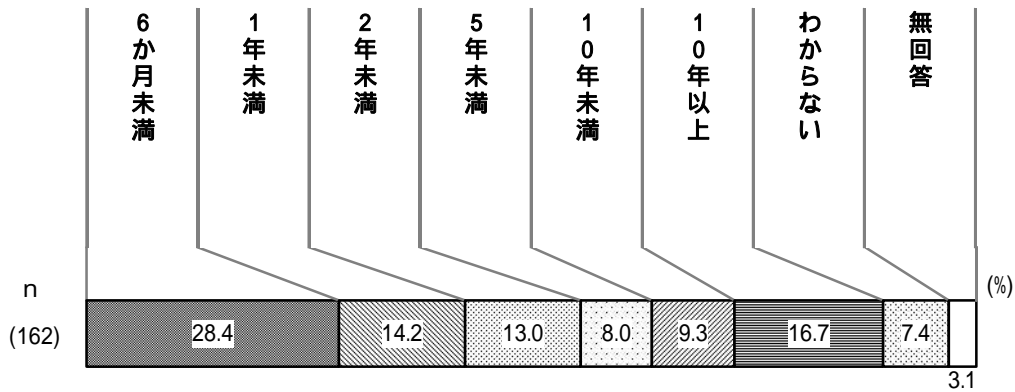
なお、「持っていない」が69.1%となっている。

問6 あなたは療育手帳を持っていますか。( S A )



療育手帳の有無については、「持っていない」が70.4%を占めている。

問7 今回の入院期間は、現在までどれくらいになりますか。(SA)



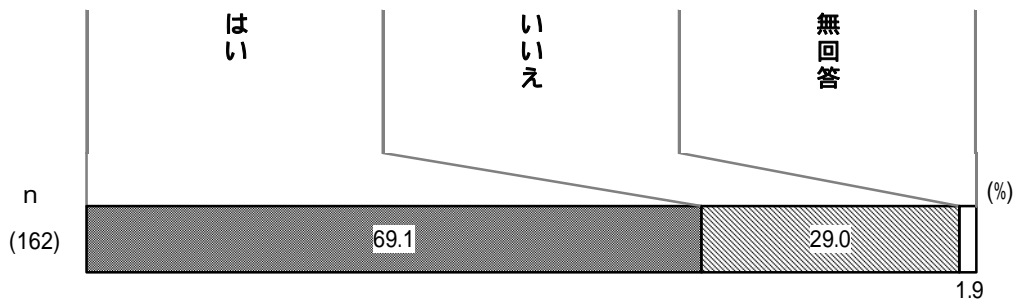
今回の入院期間については、「6ヶ月未満」(28.4%)が最も多く、以下「10年以上」(16.7%)、「1年未満」(14.2%)、「2年未満」(13.0%)となっている。

【年齢別】

	調査数 (n)	6か月未満	1年未満	2年未満	5年未満	10年未満	10年以上	わからない	無回答
全体	162	46	23	21	13	15	27	12	5
	100.0	28.4	14.2	13.0	8.0	9.3	16.7	7.4	3.1
20～30代	31	11	4	6	5	0	0	4	1
	100.0	35.5	12.9	19.4	16.1	0.0	0.0	12.9	3.2
40～50代	65	22	12	9	4	8	6	3	1
	100.0	33.8	18.5	13.8	6.2	12.3	9.2	4.6	1.5
60歳以上	62	12	7	6	4	7	20	5	1
	100.0	19.4	11.3	9.7	6.5	11.3	32.3	8.1	1.6

年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「6ヶ月未満」は多く、「10年以上」は少なくなっており、高齢になるほど入院期間が長くなっている。

問8 以前、精神科に入院したことがありますか。( S A )



精神科入院経験の有無については、入院したことがある人が 69.1%、入院したことがない人は 29.0%となっている。

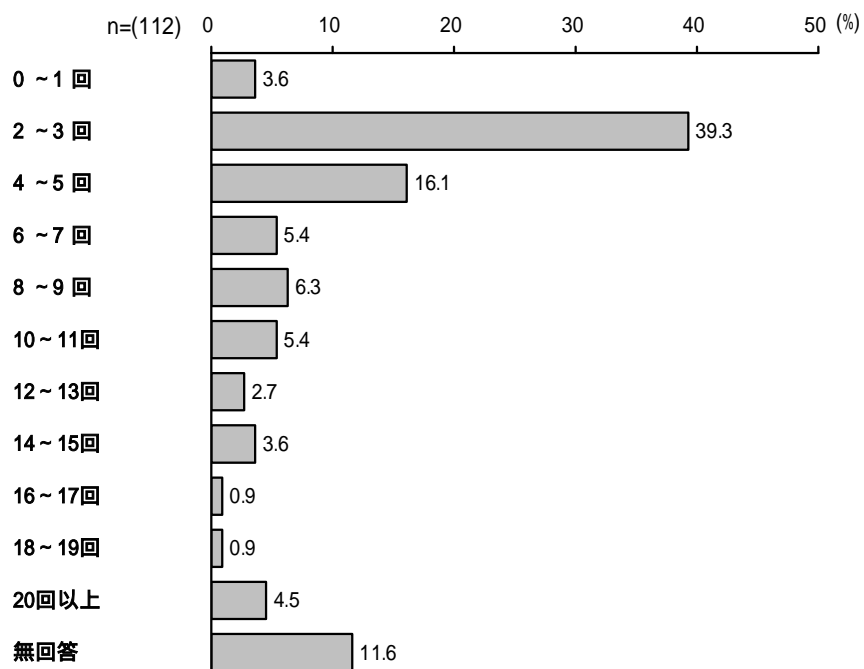
【年齢別】

	調査数 (n)	はい	いいえ	無回答
上段：件数 下段：%				
全体	162 100.0	112 69.1	47 29.0	3 1.9
20～30代	31 100.0	19 61.3	11 35.5	1 3.2
40～50代	65 100.0	44 67.7	21 32.3	0 0.0
60歳以上	62 100.0	49 79.0	13 21.0	0 0.0

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって入院したことがある人は多く、入院したことがない人は少なくなっている。

問9 8において「1 はい」を選択した方におたずねします。

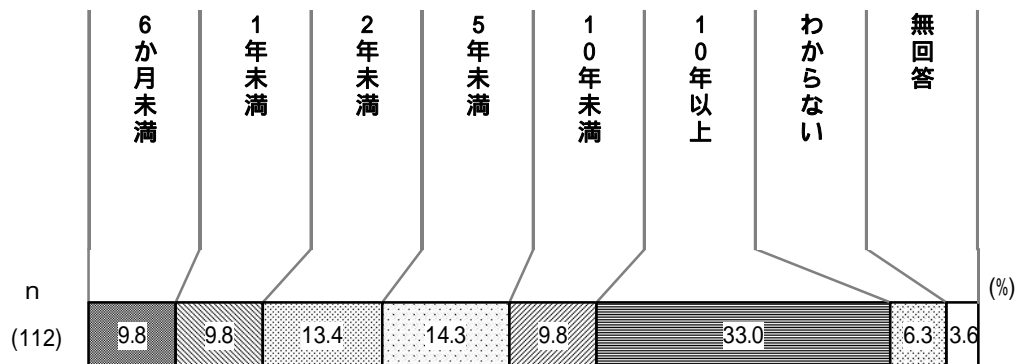
(1) 今回を入れて何回入院しましたか。(数値)



精神科の入院回数については、「2～3回」(39.3%)が最も多く、以下「4～5回」(16.1%)となっている。

なお、平均入院回数は、6.0回となっている。

(2) 入院の期間は通算するとどのくらいの期間になりますか。( S A )



通算入院期間については、「10年以上」(33.0%)が最も多く、以下「5年未満」(14.3%)、「2年未満」(13.4%)となっている。

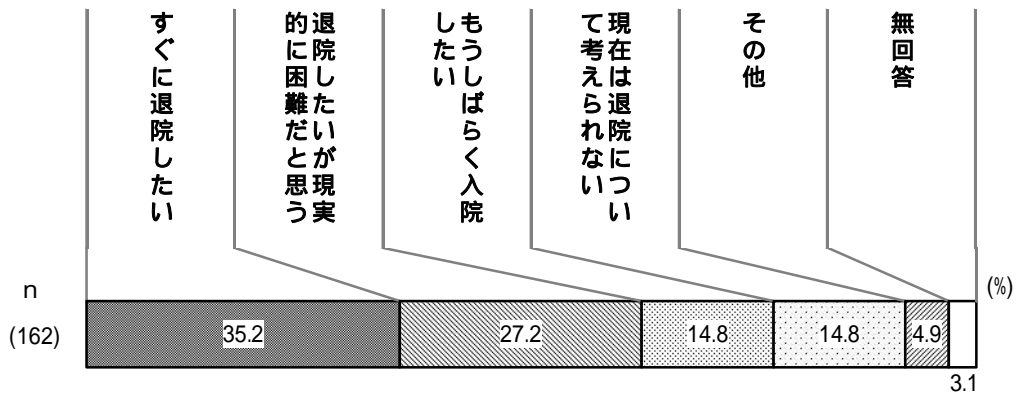
【年齢別】

	調査数 (n)	6か月未満	1年未満	2年未満	5年未満	10年未満	10年以上	わからない	無回答
上段：件数									
下段：%									
全体	112	11	11	15	16	11	37	7	4
	100.0	9.8	9.8	13.4	14.3	9.8	33.0	6.3	3.6
20～30代	19	4	1	2	6	2	1	3	0
	100.0	21.1	5.3	10.5	31.6	10.5	5.3	15.8	0.0
40～50代	44	6	5	10	4	8	7	1	3
	100.0	13.6	11.4	22.7	9.1	18.2	15.9	2.3	6.8
60歳以上	49	1	5	3	6	1	29	3	1
	100.0	2.0	10.2	6.1	12.2	2.0	59.2	6.1	2.0

年齢別にみると、年齢が低くなるにしたがって「6ヶ月未満」は多く、「10年以上」は少なくなっており、高齢になるほど通算入院期間が長くなっている。



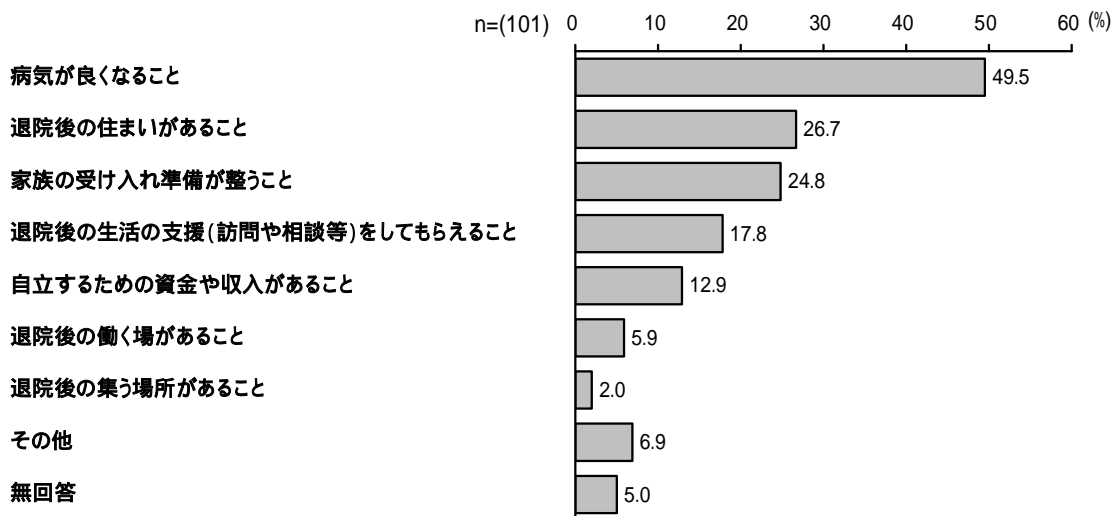
問 10 退院について、あなたはどのように考えていますか。( S A )



退院の意向については、「すぐ退院したい」(35.2%)が最も多く、以下「退院したいが現実的に困難だと思う」(27.2%)、「もうしばらく入院したい」、「現在は退院について考えられない」(ともに14.8%)となっている。

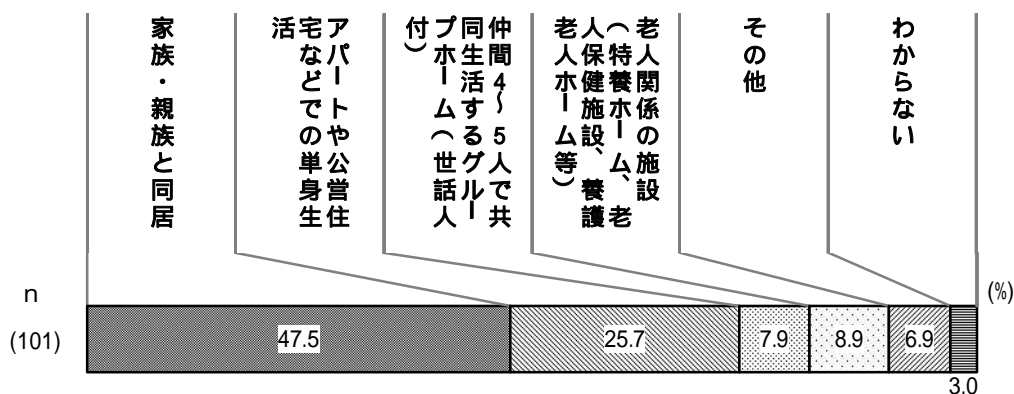
問 11 問 10 において「1 すぐに退院したい」または「2 退院したいが現実的に困難だと思う」を選択した方におたずねします。

(1) どのような条件が整えば退院できると思いますか。( M A )



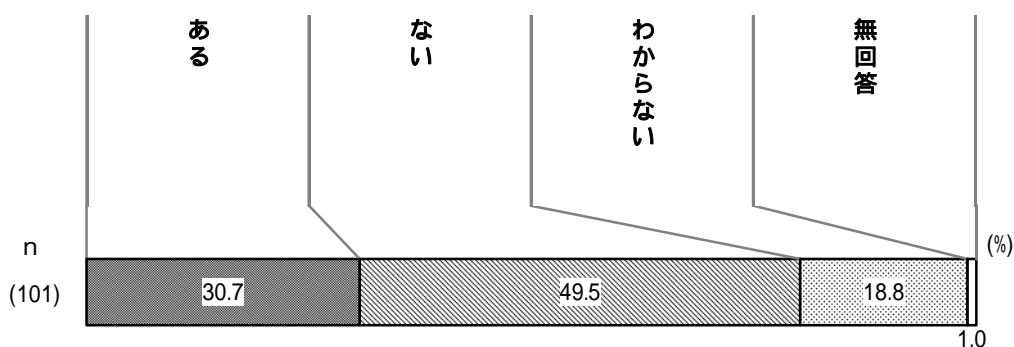
退院できる条件については、「病気が良くなること」(49.5%)が最も多く、以下「退院後の住まいがあること」(26.7%)、「家族の受け入れ準備が整うこと」(24.8%)となっている。

(2) 退院後、あなたはどこで生活をしたいと思いますか。( S A )



退院後に希望する生活については、「家族・親族と同居」(47.5%)が最も多く、以下「アパートや公営住宅などで単身生活」(25.7%)となっている。

(3) あなたは退院後の生活の場を確保する上で、何か困るようなことはありますか。( S A )



退院後の生活の場を確保する上で困ることの有無については、「ある」が30.7%、「ない」が49.5%となっている。

(4)(3)において「1 ある」を選択した方におたずねします。

困るようなことは何ですか。(MA)

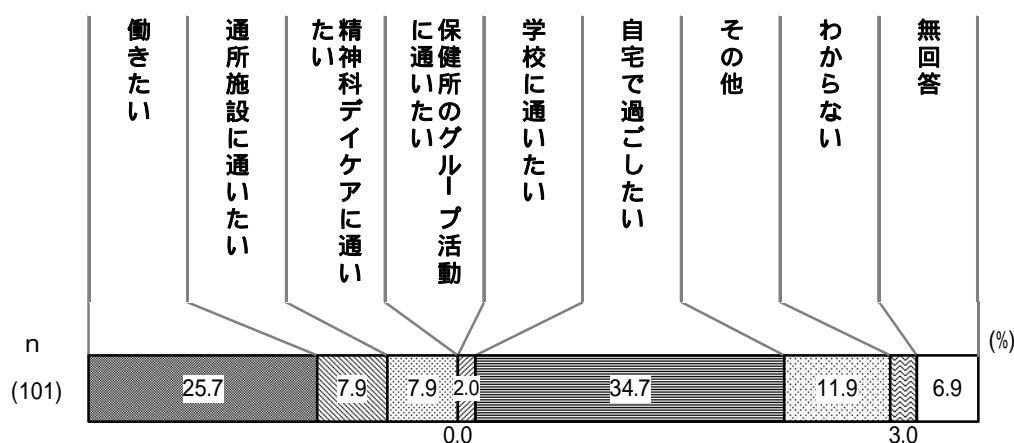
(上段：件数、下段：%)

調査数 (n)	毎月の家賃や入居料が確保できない	極端的に家族が一緒に暮らすことに反対する、あるいは消極的	家族が一緒に暮らすことができない	敷金や入居保証金などが確保できない	空いている施設やグループホームがない	アパートや公営住宅の入居のための保証人がいない	その他	わからない
31	12	7	7	7	4	2	5	4
100.0	38.7	22.6	22.6	22.6	12.9	6.5	16.1	12.9

退院後の生活の場を確保する上で困ることについては、「毎月の家賃や入居料が確保できない」(12件)が最も多く、以下「家族と一緒に暮らすことに反対する、あるいは消極的」、「敷金や入居保証金などが確保できない」(ともに7件)となっている。

なお、「その他」については、「さみしい」、「立派に生きられるか」、「災害が怖い」などとなっている。

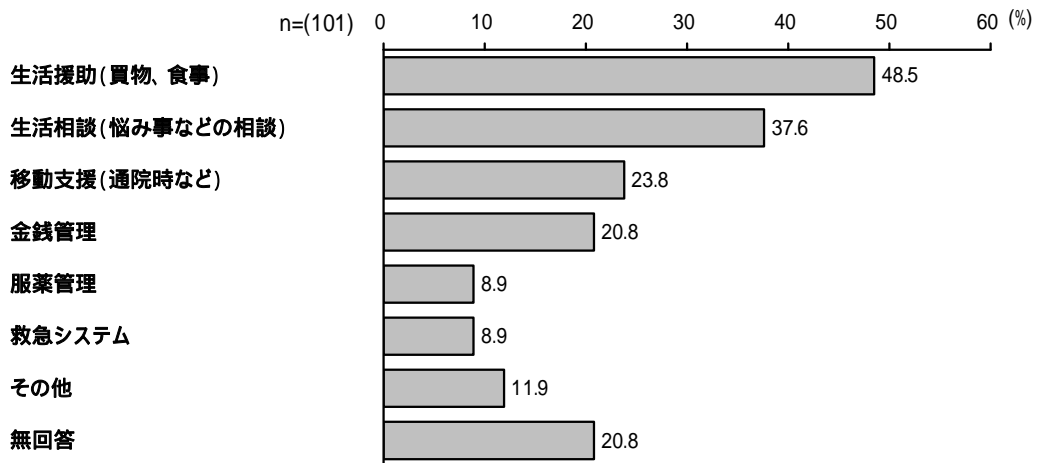
(5) 退院後、あなたは日中どのように過ごしたいと思いますか。(SA)



希望する退院後の過ごし方については、「自宅で過ごしたい」(34.7%)が最も多く、以下「働きたい」(25.7%)、「通所施設に通いたい」、「精神科デイケアに通いたい」(ともに7.9%)となっている。

なお、「その他」については、「子育て」、「一人暮らし」、「ボランティア参加」などとなっている。

(6) 退院後に望む支援は何ですか。(MA)



希望する退院後の支援については、「生活援助(買物、食事)」(48.5%)が最も多く、以下「生活相談(悩み事などの相談)」(37.6%)、「移動支援(通院時など)」(23.8%)となっている。

問 12 問 10 において「3 もうしばらく入院していきたい」を選択した方におたずねします。

退院したくない理由は何ですか。(SA)

(上段：件数、下段：%)

調査数 (n)	一人で生活できる程度まで回復してから退院したい	一人で生活できる程度まで回復していない退院	病気の症状があるので退院できない	再発するかもしれないという不安があり、入院している方が安心	家族(保護者)が高齢のため、同居することが難しい	その他	無回答
24	4	1	6	4	3	3	3
100.0	16.7	4.2	25.0	16.7	12.5	12.5	12.5

退院したくない理由については、「病気の症状があるので退院できない」(6件)が最も多く、以下「一人で生活できる程度まで回復してから退院したい」、「再発するかもしれないという不安があり、入院していた方が安心」(ともに4件)、「家族(保護者)が高齢のため、同居することが難しい」(3件)となっている。

問 13 あなたは困ったとき誰に（どこに）相談しますか。（MA）

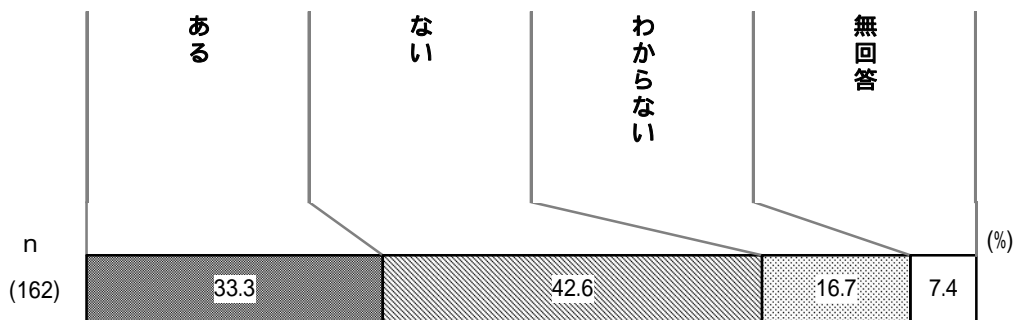
（上段：件数、下段：％）

調査数（n）	家族や親戚	主治医	看護師、ワーカー等	友人・知人等	市役所、区役所	障害者福祉センター、相談支援事業所	施設	110番 まもり ぶ仙台、 障害者	民生委員・児童委員	職場	障害者就労支援センター
162 100.0	101 62.3	68 42.0	55 34.0	37 22.8	20 12.3	8 4.9	5 3.1	4 2.5	3 1.9	3 1.9	3 1.9

障害者相談員	はあ とぼ ーと 仙台 （精 神 保健 福祉 総合 セン ター）	ホ ー ム ヘル パー	学 校	障 害 者 団 体	そ の 他	な い	相 談 し た く な い	無 回 答
2 1.2	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.9	3 1.9	10 6.2

困ったときの相談相手については、「家族や親戚」(101件)が最も多く、以下「主治医」(68件)、「看護師、ワーカー等」(55件)、「友人・知人等」(37件)となっている。

問 14 障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。( S A )



障害を理由に差別を受けたり、いやな思いをしたことについては、「ある」が 33.3%、「ない」が 42.6%となっている。

問 15 問 14 において「1 ある」を選択した方におたずねします。

(1) あなたは、どのような内容の差別を受けたり、いやな思いをしましたか。( M A )

(上段：件数、下段：%)

調査数 (n)	周囲の人たちの障害に対する理解のなさ	近所づきあい、人間関係がうまくいかない	外出時、周囲の視線、態度、言葉が気になった	窓口職員の対応が悪く、いやな顔をされる	交通機関利用時に運転手や客からいやな態度を転手	学校、職場でのいじめ	仕事での待遇の差がある	その他	無回答
54	26	20	13	8	7	6	5	8	6
100.0	48.1	37.0	24.1	14.8	13.0	11.1	9.3	14.8	11.1

受けた差別やいやな思いの内容については、「周囲の人たちの障害に対する理解のなさ」(26件)が最も多く、以下「近所づきあい、人間関係がうまくいかない」(20件)、「外出時、周囲の視線、態度、言葉が気になった」(13件)となっている。

(2) 差別を受けたり、いやな思いをしたときに誰かに相談しましたか。(MA)

(上段：件数、下段：%)

調査数 (n)	家族や親戚	主治医	友人・知人等	看護師、 ワーカー	市役所、 区役所	まもり 110番台、 障害者 相談員	障害者 相談員	業 所 、 相 談 支 援 事	障 害 者 福 祉 セ ン タ ー	施 設
54 100.0	25 46.3	17 31.5	16 29.6	8 14.8	3 5.6	2 3.7	2 3.7	2 3.7	1 1.9	
合 計 ( 精 神 保 健 福 祉 セ ン タ ー )	員 民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	職 場	学 校	障 害 者 団 体	ホ ー ム ヘル パー	障 害 者 就 労 支 援 セ ン タ ー	そ の 他	相 談 し な か っ た	無 回 答	
1 1.9	1 1.9	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	12 22.2	3 5.6	

差別を受けたり、いやな思いをしたときの相談先については、「家族や親戚」(25件)が最も多く、以下「主治医」(17件)、「友人・知人等」(16件)となっている。

なお、「相談しなかった」は12件となっている。

(3)(2)において「18 相談しなかった」を選択した方におたずねします。

相談しなかった理由は何ですか。(SA)

(上段：件数、下段：%)

調査数 (n)	先 相 談 し な か っ た が 相 談 し た く な い	相 談 し た く な い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
12 100.0	4 33.3	2 16.7	4 33.3	1 8.3	1 8.3

差別やいやな思いを相談しない理由については、「相談したいが相談先がなかった」(4件)、「相談したくない」(2件)となっている。

なお、「その他」については、「どこでも解決しないからやめた」、「相談したところで解決にならないから」などとなっている。

## 2 精神障害者本人（入院）の自由回答

アンケートに、自由に発言していただける欄を設けたところ、意見数は32件であった。以下に主な意見を抜粋し、まとめた。

程度によるのかもしれませんが、働く所と住まいの確保、特に安い住まいの確保を優先してほしいです。あとは働ける場所を。

障がい者が受けられるサービスを市のHPなどで、確認できるようにしてほしい。

グループホームに申し込んでいるので、早くよい所に移り住みたいです。

24時間携帯電話でも人生相談ができる仙台市、もしくは東京(特に)のところがあるとよい。

働く場所を多くしてもらいたい。

外出の機会を増やしたい。

ショートステイ、グループホームの施設の充実をはかってほしい。

正職員でもお給料が減額になっていいので、就労時間を短くなる制度もつくってほしい。あるいは休暇を多くとれるとか改善してほしい。または、準社員に降格できるようにしてほしい。

もう少し広い視野で、生活レベル、障がいレベルなどの細かいチェックもしてほしい。今何が必要なのかを理解してほしい。

しかるべき本（専門書）が読める環境があるといいと思う。

ゆっくりお仕事ができる場所があるとよい。ゆっくり眠れるように支援してほしい。

自由に外出できるような支援がほしい。家族がいなくても退院できるようにしてほしい。